

令和4年度事業報告

- 1 「将来構想～今後10年の展望～」(平成24年度策定)の基本方針に基づき、この将来構想の実現に向けての重点項目である「競技力の向上、スポーツの普及、組織力強化」など、本会加盟団体をはじめ、新潟県及び関係機関・団体等との連携強化・協働を着実に促進し、新たに「中期計画2023-2027」を策定した。

また、「新潟県スポーツ推進プラン」の実現に向け着実に推進した。

- 2 今後開催されるオリンピック等において、継続的に本県から出場し活躍する選手の輩出に向け、新潟県、市町村、企業、競技団体等と連携しながら選手の発掘・育成等を推進し、新潟県の競技水準の向上とスポーツの普及・振興を図った。

また、障がい者スポーツの普及・振興に寄与するため、関係機関・団体等との連携を図った。

- 3 地域全体が主体的に連携・協働してスポーツを推進する仕組みづくりをより充実するため、新潟県広域スポーツセンター事業を中心として総合型地域スポーツクラブの育成、スポーツによる地域活性化の促進を図るとともに、「総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度」の運用を開始した。

また、幼児期からの運動習慣アップのための支援の推進及びスポーツを通じて次代を担う青少年の健全育成を図るためのスポーツ少年団の育成・充実に取り組み、4年ぶりとなった第45回全国スポーツ少年団剣道交流大会を無事開催するとともに、パートナー企業と連携して新たに「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」を実施し、SDGsを推進した。

- 4 スポーツ庁が制定した「スポーツ団体ガバナンスコード」を踏まえ、コンプライアンスの徹底やガバナンス強化等クリーンでフェアなスポーツの推進を加盟団体等と取り組み、新潟県のスポーツ・インテグリティを高め、併せてスポーツ文化の発展に取り組んだ。

また、本会のガバナンスコード遵守状況について公表した。

- 5 「新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター」の指定管理者(令和

3年度からの5年間についても指定済み)として、適切かつ効果的な施設管理を行うとともに、競技水準の向上及び健康づくり活動を推進した。

また、魅力ある施設として県民に認識知されることで、施設の「賑わい」「活性化」を目指した。

※数字は決算額。()は予算額

A 公益事業

I 競技力向上対策事業の推進 206,133,732円(218,117,000円)

本県の競技水準の維持・向上を図るため、県、加盟団体を始めとする関係機関・団体との緊密な連携・協力を目的とした諸会議を開催するとともに、各種強化事業を実施した。

1 競技水準向上対策運營業務 33,291,301円(32,160,000円)

本県競技水準向上対策の方針について競技団体等関係者との共通理解を図るため諸会議を開催した。

会議名	期日	会場
国体実施競技団体理事長・強化総括責任者会議 第1回	令和4年6月25日	新潟ユニゾンプラザ
第2回	令和4年11月12日	新潟ユニゾンプラザ
第3回	令和5年3月11日	新潟ユニゾンプラザ
第77回国民体育大会 監督会議・結団式	令和4年9月4日	新潟ユニゾンプラザ
オリンピック選手 育成検討委員会	令和4年5月13日	新潟県健康づくり医科学センター

2 競技水準向上対策事業 150,062,431円(163,098,000円)

(1) 新潟スーパージュニア養成事業

ア 新潟ジュニア育成事業 38,408,228円(41,883,000円)

将来の国体での少年種別の競技力の向上と国内トップ選手の育成を図るため、ジュニア選手(小学生・中学生・高校生)を対象として計画的・継続的な強化合宿を実施した。(37競技)

イ 育成指導者配置事業 35,370,275円(38,316,000円)

競技力の向上を図るため、全国トップレベルの競技実績を有する育

成指導者を市町村スポーツ・体育協会等に配置し、国体選手やジュニア選手に対して指導を行った。(8 競技 10 名)

(2) 強化事業

ア 国体強化事業 65,059,468 円 (82,889,000 円)

競技力の向上を図るため、国体選手及び次期候補選手の強化活動を支援した。(35 競技)

イ 強化スタッフ支援事業 2,677,960 円 (2,871,000 円)

国体選手のスポーツ障害の予防・コンディションの調整・技術指導等を行うため、スポーツドクターやトレーナー、コーチ等を国民体育大会へ派遣した。(36 競技)

ウ 社会人・企業スポーツ指定強化事業 2,015,100 円 (2,085,000 円)

社会人スポーツの振興を図るため、新潟県社会人スポーツ推進協議会においてその方策を協議するとともに、社会人・団体のクラブが行う強化活動を支援した。(企業スポーツ強化支援助成 6 企業・クラブチーム強化支援助成 5 クラブ)

エ 新潟県社会人スポーツ推進協議会の運営 413,000 円 (413,000 円)

県内における社会人スポーツの推進と優秀な選手等の雇用を図るための方策を検討するとともに、会員企業への採用調査や競技団体への優秀選手就職希望調査等により、選手の定着を図った。

会議名	期日	会場
総会	令和4年6月6日	新潟ユニゾンプラザ
幹事会		
第1回	令和4年6月6日	新潟ユニゾンプラザ
第2回	令和4年9月13日	新潟県健康づくり医科学センター
第3回	令和5年3月15日	新潟県健康づくり医科学センター

オ トップコーチ等招へい事業 1,986,634 円 (2,000,000 円)

オリンピックや国内で活躍する選手の育成と指導者の資質向上を図るため、国内外のトップコーチを招へいし、指導を受けた。(7 競技)

カ コーディネーター配置事業 4,131,766 円 (5,510,000 円)

優秀な選手や指導者が本県に定着し、地域社会で活躍できる仕組みづくりなどを行うためコーディネーターを配置した。

3 オリンピックアスリート夢チャレンジ事業

22,780,000円(22,859,000円)

強化指定選手等の国内外の遠征等、強化活動に対して支援を行った。
(7競技51名)

II 国民体育大会関連事業・業務の推進 1,195,274円(1,576,000円)

国民体育大会への選手等の参加・派遣に関する業務を推進した。

<第77回国民体育大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	139.0点	8位	56.0点	9位
本大会	662.5点	40位	419.5点	43位
合計	801.5点	35位	475.5点	38位

<特別国民体育大会冬季大会成績>

大会名	男女総合成績		女子総合成績	
	得点	順位	得点	順位
冬季大会	106.0点	13位	38.0点	16位

1 国民体育大会への本県選手団派遣

大会名	会期	開催地	派遣人数
第77回国体本大会	令和4年10月1日 ～10月11日	栃木県	541名
特別国体冬季大会 スケート競技会・アイスホッケー競技会	令和5年1月28日 ～2月5日	青森県	29名
特別国体冬季大会 スキー競技会	令和5年2月17日 ～20日	岩手県	79名
特別国体冬季大会 アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会	令和4年12月9日 ～11日	愛知県	27名
特別国体冬季大会 フィギュア競技会予選会	令和4年12月3日 ～4日	滋賀県	5名
第43回北信越国体	令和4年8月19日 ～21日	福井県	804名

2 国体ユニフォーム購入補助事業

県予選会又は北信越国民体育大会を経て代表権を得た者で、本県選手団ユニフォームを購入した者を対象として選手団ユニフォームの購入費用を3割補助した。

3 アンチ・ドーピング教育・啓発活動の推進

国体選手・指導者に対し、アンチ・ドーピングの教育・啓発活動の一環として、日本スポーツ協会が作成した啓発リーフレットを各競技団体やスポーツドクター協会等に配布するとともに、県の薬剤師会と連携し会議での説明機会を設けた。

Ⅲ 新潟スポーツムーブメントの推進 9,096,857円(9,086,000円)

1 新潟スポーツムーブメント推進事業 1,367,584円(1,986,000円)

新潟県のスポーツ文化の発展を促すため、スポーツ・インテグリティの確保を推進し、クリーンでフェア、安全で安心なスポーツ環境を整えるとともに、スポーツ情報の提供、表彰の実施、加盟団体との連携強化などを推進した。また、パートナー企業と連携して「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」を実施し、子どもたちが運動遊びやスポーツに親しむ環境づくりの充実を図るとともに、SDGsを推進した。

(1) スポーツ・インテグリティ事業の推進

スポーツ・インテグリティを推進するための研修会を開催したほか、加盟団体等が実施する研修事業に補助(8件)した。

事業名	期日	会場
スポーツ・インテグリティ研修会		
第1回	令和4年7月16日	オンラインにより実施
第2回	令和4年11月12日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第3回	令和5年2月5日	新潟ユニゾンプラザ
第4回	令和5年3月10日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

(2) スポーツ情報の収集発信の推進

本会の諸活動や加盟団体等の情報発信と公益法人としての情報公開に努めた。

(3) スポーツ功労者等の表彰

ア 表彰選考委員会

委員会名	期日	会場
表彰選考委員会	令和4年11月9日	新潟県健康づくり・スポーツ 医科学センター

イ 表彰者受賞者

表彰名	氏名 (敬称略)	所属 / 推薦団体	表彰式 期日/会場
スポーツ栄光 賞 2名	水沼 尚輝 下山 好充	新潟医療福祉大学 新潟医療福祉大学	令和5年度に実施予定 令和5年度に実施予定
スポーツ功労 者賞 3名	井上 易喜 小野塚英男 山崎 健吾	阿賀野市スポーツ協会 (一社)十日町市スポーツ協会 妙高市スポーツ協会	令和4年 12月11日 アートホテル 新潟駅前
優秀指導者賞 2名	立花 泰志 田村 和宏	(一財)新潟陸上競技連盟 (一財)新潟陸上競技連盟	
公認スポーツ 指導者賞1名	伊比 亨	(一財)新潟県水泳連盟	
優秀競技者賞	71名	8団体	
奨励競技者賞	15名	3団体	

(4) 加盟団体連携会議の開催

事業名	期日	会場
加盟団体連携会議	令和4年4月28日	新潟県健康づくり・スポーツ 医科学センター

2 にいがた子どものスポーツ応援プロジェクトの実施（新規）

3,826,874円(5,500,000円)

子どもたちの健やかな育成とスポーツの振興を図るため、パートナー企業の協賛と加盟団体等との連携により、子どもたちに楽しい運動遊びや多様なスポーツ（パラスポーツ含む）に親しむ機会を提供する「スポーツ体験キャラバン」を新潟市、長岡市、上越市及び佐渡市で開催し、約1,400名の親子の参加を得た。

3 地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業の実施（新規）

3,902,399円(1,600,000円)

行政・スポーツ関係団体等による連絡会議を2回開催するとともに、休日の運動部活動の地域移行などの情報・課題の共有や地域におけるスポーツ推進体制の充実を促進するための「地域ミーティング」を魚沼市、加茂市、上越市及び弥彦村で開催。また、現場の声に応え「部活動の地

域移行及び県中体連主催大会参加資格要件に関する説明会」も開催した。併せて、スポーツ体験キャラバンの一部として親子の運動機会創出活動を実施するとともに、総合型地域スポーツクラブ登録・認証制度の運用を始めとする中間支援組織としての業務も実施した。

4 日本スポーツマスターズへの参加

生涯スポーツのより一層の推進を目的に、スポーツ愛好者の中で、競技志向の高いシニア世代を対象とした総合スポーツ大会として岩手県において開催の「日本スポーツマスターズ 2022 岩手大会」(実施競技 13 競技)への参加業務を行った。

大会名	会期	開催地
日本スポーツマスターズ 2022 大会	令和 4 年 9 月 23 日～26 日 (中心会期)	岩手県

IV 公認スポーツ指導者の養成 1,040,260 円 (2,095,000 円)

1 公認スポーツ指導者講習会 (コーチ I・II) の開催

(公財) 日本スポーツ協会公認指導者養成講習会専門科目を開催した。

<専門科目>

開催競技	期日	会場	参加者数
軟式野球	令和 4 年 11 月 23 日 (祝水) ・26 日 (土) ～27 日 (日)	HARD OF ECO スタジアム新潟	34 名
バドミントン	令和 4 年 8 月 26 日 (土) ～8 月 27 日 (日)	新津地域学園	20 名
ソフトボール	開催中止		
山岳	開催中止		
ゲートボール	開催中止		
水泳 (競技団体独自)	開催中止		

2 スポーツ指導者研修会の開催

(公財) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の資質向上と活動促進、指導者間のネットワークを構築し組織的活用を図るため、指導者研修会を開催した。

研修会名	期日	会場
新潟県スポーツ 指導者研修会	令和 5 年 2 月 5 日 (日)	新潟ユニゾンプラザ

V 広域スポーツセンターの運営等 20,705,719円(21,643,000円)

「新潟県スポーツ推進プラン」(平成28年3月策定)に基づき、県民一人一人が日常生活の中にスポーツを取り入れる社会の実現を図るため、新潟県が本会内に設置した「新潟県広域スポーツセンター」の事業を推進した。

1 新潟県広域スポーツセンターの事業推進等

13,709,850円(14,271,000円)

事業推進拠点としての「新潟県広域スポーツセンター」の事業並びに新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会、新潟県スポーツ施設協会の事業及び運営、各種調査・統計資料作成などの関連業務を行った。

(1) 総合型地域スポーツクラブの育成・支援

総合型地域スポーツクラブの創設・育成の支援及び総合型クラブの質的向上と連携強化を図るため、研修会を2回開催するとともに、第2期総合型地域スポーツクラブ経営サポート事業(2年継続)を実施し、中小企業診断士・大学教員の指導・助言により、3クラブの経営改善を支援した。また、総合型地域スポーツクラブが連携し、withコロナに対応して実施する健康づくり事業の実施を支援した。

事業名	期日	会場
新潟県総合型地域スポーツクラブ研修会	第1回 令和4年12月6日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター・オンライン併用
	第2回 令和5年1月31日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター・オンライン併用
広域連携型総合型地域スポーツクラブ健康づくり推進事業	令和4年9月～ 令和5年2月	妙高市、南魚沼市、津南町

(2) スポーツと地域活性化の好循環創出事業の実施

県民がスポーツを通じて豊かな生活を送る社会の実現を目指すため、スポーツの力と地域資源を活用した魅力ある地域づくりに取り組む活動の支援を通じ、スポーツによる地域活性化を推進することを目的とする第3期スポーツと地域活性化の好循環創出事業(3年継続)の第1年次事業を指定3団体と連携し、実施した。また事業開始にあたり「キックオフミーティング」を開催し、アドバイザーが事業視察を行い、2月28日にはアドバイザー・事業関係者による連携促進会議を開催した。

指定団体	概要
NPO 法人サードフィールドさど (佐渡市)	「アウトドアスポーツで人を育て佐渡を元気にする」を事業コンセプトとし、加茂湖でのヨット、レガッタ、カヤックの体験会やスキー教室、スノーフェスティバルを開催するとともに、先進地視察（群馬県みなかみ町）を行った。
十日町市スポーツ コミッション (十日町市)	「地域資源（自然・文化・食・スポーツ・人々など）を活かした「地域ツーリズム」づくり」を事業コンセプトとし、地域ツーリズム研究会を立ち上げ、ワークショップの開催（4回）、共生社会・パラスポーツ・温泉・食事・地元体験をテーマとする車椅子ユーザーによる試行的事業を実施するとともに、先進地視察（三重県いなべ市）を行った。
NPO 法人T a p (津南町)	「地域資源の新しい「つながり」をつくり出す」を事業コンセプトとし、地域資源の新しいつながり会議を開催（4回）、雪散歩事業の拡充（新コースの設定、ホテルとの連携）、地元の子どもへのアンケート調査を実施するとともに、先進地視察（長野県野沢温泉村、信濃町）を行った。

(3) 地域スポーツ人材養成事業の実施

持続可能で健全なスポーツ団体の運営等を支える人材育成や人材の高度化を行うとともに地域スポーツ関係者の交流促進を図り、住民等が主体的に参画する地域スポーツ環境の整備を進めることを目的としたセミナーをオンライン形式により開催した。

期日	演題	参加者数
令和5年3月3日	「デジタル初心者のためのDXの始め方～デジタル技術を上手く使って業務を効率化～」	33名
令和5年3月17日	「消費税」インボイス制度セミナー～消費税の仕組みとインボイス制度とは～	37名

(4) スポーツ情報の収集発信

新潟県広域スポーツセンターウェブサイトを運用し、様々なスポーツ情報の収集・発信を行った。また、「新潟県スポーツの現状」などの統計資料を作成・公開した。

(5) その他関連業務の実施

国（スポーツ庁）の「体力・運動能力調査」等を始め、新潟県スポーツ施設協会事務局業務（総会・研修会開催、調査・名簿作成等）、ラジオ体操の普及などの事務を実施した。

2 幼児期からの運動習慣アップのための支援

2,486,804 円（2,450,000 円）

県内各地で誰もが幼児期に楽しく体を動かす「運動遊び」を経験でき、発達段階に応じた適切な援助を受けることができる環境の整備を図るため、公開保育形式によるモデル研修会及び、保育士、スポーツ指導者、行政担当者等による先進的な取り組みや好事例の共有を図る保育・スポーツ連携会議（普及啓発セミナー）を開催するとともに、幼児期における「運動遊び」の普及啓発や保育者等への支援を担う地域の中核となる人材の養成を図るため、地域専門人材養成研修事業を実施し、18名の受講者のうち17名を修了者とした。

また、令和5年2月21日にアドバイザー会議を開催し、5年間の事業を総括するとともに、地域専門人材養成研修成果検討会を開催した。

（モデル研修会）

会場名	期日	会場	参加者数
加茂会場	令和4年6月29日	加茂市立加茂西宮保育園	27名
阿賀野会場	令和4年10月6日	阿賀野市笹神体育館	18名
南魚沼会場	令和4年10月31日	南魚沼市ふれ愛支援センター	20名
妙高会場	令和4年11月21日	妙高市立新井あおぞら保育園	14名
燕会場	令和4年11月28日	燕北多目的武道場	18名

（保育・スポーツ連携会議／普及啓発セミナー）

加茂会場	令和4年6月29日	加茂市民体育館	21名
阿賀野会場	令和4年10月6日	阿賀野市笹神体育館	13名
南魚沼会場	令和4年10月31日	南魚沼市ふれ愛支援センター	19名

妙高会場	令和4年11月21日	妙高市総合体育館	15名
燕会場	令和4年11月28日	燕北多目的武道場	27名

3 クラブアドバイザー等配置事業の実施（新規）

4,509,065円（4,922,000円）

スポーツ振興くじ助成金（独立行政法人日本スポーツ振興センター）のクラブアドバイザー等配置事業を活用してクラブアドバイザーを1名配置し、総合型クラブの育成と普及を図るとともに、自立的な運営の促進に向けた支援を担う中間支援組織の業務を推進した。

VI 高等学校体育連盟への助成 277,145円（290,000円）

（公財）日本スポーツ協会のオフィシャルパートナーである大塚製薬（株）が実施する「推進費付き自動販売機設置事業」を活用し、県内高等学校に設置した自動販売機の販売手数料を高等学校体育連盟へ助成金として交付した。

VII 交流人口拡大合宿等誘致推進事業 1,396,392円（6,050,000円）

競技団体が県外大学等の合宿・大会などを誘致し、交流人口の拡大や県内ジュニア選手の育成・強化及び指導者のスキルアップを図ると共に、企画力や大会運営などの組織基盤強化と事業力の向上を図ることを目的に実施する団体へ委託として実施した。

VIII スポーツ少年団の育成 28,639,167円（29,274,000円）

スポーツを通じて心身ともに健全な青少年を育成するため、日本スポーツ少年団等との連携やスポーツ少年団経営検討会議からの提案を踏まえ、諸事業を実施した。また、ジュニアスポーツの振興を図るため、関係団体との連携を促進するとともに、「にいがた子どものスポーツ応援プロジェクト」と連携した活動も推進した。併せて「いじめ見逃しゼロ県民運動」にも協力した。

1 新潟県スポーツ少年団の運営及びスポーツ少年団登録の促進

7,471,721円（8,702,000円）

(1) 新潟県スポーツ少年団の運営

ア 登録数の拡大促進

市町村スポーツ少年団の設置促進及び登録者（団員・指導者・役員・スタッフ）の維持・増加を目指すとともに、新型コロナウイルス感染対策を徹底しながら各種事業を再開し、スポーツ少年団活動の充実を図った。

① 令和4年度市町村設置状況

28市町村（未設置：妙高市・出雲崎町）

② 登録状況

区分	団数・人数	前年度比
市町村	28 団	—
単位団	531 団	△22 団
指導者	1,650 名	△106 名
単位団役員・スタッフ	860 名	△46 名
県・市町村役員・スタッフ	183 名	△11 名
団員 (男女内訳)	9,837 名 男子 6,730 名 女子 3,107 名	△344 名 △156 名 △188 名

イ 広報・情報提供等の推進

「にいがたスポ少ニュースレター」（1万7千部）を発行するなど、広報と情報提供を推進した。

ウ 顕彰の実施

表彰名	表彰数等
新潟県スポーツ少年団顕彰 単位団 登録者	2 団 7 名
日本スポーツ少年団顕彰 市町村 登録者	阿賀野市、津南町 3 名

エ 諸会議の開催及び参加

新潟県スポーツ少年団の関連会議（総会、正・副本部長会議、表彰選考委員会、11 専門部会）を開催し、事務・事業の円滑な実施を図るとともに、日本スポーツ少年団の諸会議及び北信越ブロックス

ポーツ少年団連絡協議会理事会に参加した。

会議名	期日	会場
第1回総会	令和4年6月2日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回総会	令和5年3月7日	

2 事業の実施 21,167,446円(20,572,000円)

(1) 広域(地域)活動の支援 142,811円(250,000円)

地区連絡協議会が実施する事業に助成し、各地区におけるスポーツ少年団活動の充実を図った。

(2) 第42回新潟県スポーツ少年団競技別交流大会の開催

2,938,281円(3,108,000円)

開催競技	会期	開催地	参加者数
剣道、卓球、バドミントン(団体戦)、柔道、空手道、軟式野球、サッカー、バレーボール、少林寺拳法、ミニバスケットボール	令和4年6月18日～ 11月27日	新潟市、長岡市、三条市、村上市	2,730名
バドミントン(個人戦)	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止		

(3) 北信越ブロック事業の開催又は参加 681,918円(924,000円)

大会名	会期	開催地	参加者数
第53回北信越ブロックスポーツ少年大会	令和4年9月17日 ～19日	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止(石川県)	
第42回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 (バドミントン、卓球)	令和4年7月30日 ～31日	長野県	各1チーム
第42回北信越ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 (ミニバスケットボール)	令和4年8月27日 ～28日	新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止	

同上 (バレーボール)	令和4年11月5日 ～6日	長野県	1チーム
第44回全国スポーツ 少年団軟式野球交流 大会北信越大会	令和4年7月2日 ～3日	みどりと森 の運動公園 野球場・鳥屋 野運動公園 野球場	1チーム

(4) 全国スポーツ少年団交流大会等への派遣

16,982,047円 (14,789,000円)

大会名	会期	開催地	参加者数
第60回全国スポーツ 少年大会	令和4年8月4日 ～7日	鹿児島県	指導者1名 団員 1名
第44回全国スポーツ 少年団軟式野球交流 大会	令和4年8月4日 ～7日	奈良県	北信越大会 で敗退した ため本県か らの参加な し
第45回全国スポーツ 少年団剣道交流大会	令和5年3月25日 ～27日	謙信公武道 館	小学生団体 指導者 2名 団員 10名 個人戦 中学生男女 各2名 (全国参加 者数381名 応援者数690 名)
第20回全国スポーツ 少年団バレーボール 交流大会	令和5年3月24日 ～27日	静岡県	女子 1チーム 監督1名 コーチ1名 マネージャー 1名 団員11名

(5) 国際交流活動の実施 0円 (0円)

事業名	期間	派遣(受入)先	人数
第49回日独スポーツ少年団同時交流 北信越事前研修会	オンライン交流に伴い未実施		
同 オンライン交流	令和4年8月1日 ～5日	オンライン	本県からの参加者無し
同 受入	新型コロナウイルス感染症の影響により受入中止		

(6) 指導者の養成と資質向上の促進 290,314円 (696,000円)

事業名	期日	会場	参加者数
スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター移行研修会	令和4年10月8日～ 11月20日	北海道、宮城県、東京都、富山県、大阪府、愛媛県、福岡県	1名
スタートコーチ(スポーツ少年団)インストラクター養成講習会	令和4年11月19日 ～20日	大阪府	1名
スタートコーチ(スポーツ少年団)養成講習会	オンデマンド学習 令和4年9月1日～ 11月26日 グループワーク 令和4年10月8日・ 11月6日・12月4日	オンライン	137名
新潟県スポーツ少年団指導者研修会 (第9回スポーツ・インテグリティ研修会と兼ねて開催)	令和4年7月16日	オンライン	20名 (スポーツ少年団関係者)
北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会	令和4年11月26日	福井県	1名
第5回ジュニアスポーツフォーラム	令和4年6月12日	集合及びオンライン	6名

アクティブ・チャイルド・プログラム (JSPO-ACP)	研修会 令和4年11月26日	三条市栄体育館	60名
	講師講習会 令和4年8月27日～ 9月11日	広島県 東京都	東京会場 1名
	講師講習会受講修了者 ブラッシュアップセミナー 令和4年8月28日～ 10月15日	広島県 東京都 オンライン	東京会場 1名 オンライン 1名
	指導実践研修会 令和4年8月21日～ 令和5年2月4日	熊本県 東京都 岡山県	本県からの 参加者無し

(7) リーダーの育成 132,075円 (805,000円)

事業名	期日	会場	参加者数
新潟県スポーツ少年団リーダー会総会	令和4年5月15日	まちなかキャンパス長岡	9名
新潟県スポーツ少年団リーダー研修会	令和4年7月18日	長岡市さいわいプラザ	7名
全国スポーツ少年団リーダー連絡会	令和4年6月11日	オンライン	1名
シニア・リーダースクール	事前研修 令和4年7月10日 全体研修 令和4年8月9日 ～12日	オンライン	1名
ジュニア・リーダースクール	令和5年1月7日 ～8日	長岡市市民体育館	18名
北信越ブロックスポーツ少年団リーダー研究大会	(事前会議) 令和4年9月10日	オンライン	1名
	(研究大会) 令和4年10月29日 ～30日	福井県	5名

IX 新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターの管理運営

178,179,072 円 (182,409,000 円)

指定管理者として本施設の機能を十分活用し、適切有効に管理運営するとともに、本県の競技水準の向上と県民の健康づくり活動の支援を行った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により一部の事業を中止した。

1 事業の実施

(1) 競技水準向上事業 66,178,141 円 (69,384,000 円)

競技者及び指導者等に医科学的な根拠に基づいた測定・分析・診療を通してトップアスリートの育成支援を行った。

ア 体力測定の実施

体力測定の意義・重要性について、県民や関係競技機関・団体への理解を深める働きかけを行い、利用促進に努めた。

イ 動作分析の実施

利用者それぞれのニーズに適した分析内容を提案するとともに、利用者拡充を目的に出張対応等を行い、継続利用の個人・団体の利用促進及び小・中学ジュニア選手の新規利用の拡大を図った。

ウ 競技力向上相談の実施

体力測定や動作分析等の結果を基に、新たなトレーニング方法の導入や、トレーニング、スポーツ栄養、スポーツメンタル等について専門職がサポートを行った。

エ スポーツ医科学サポート補助事業

国体候補選手及びジュニア選手等が実施する体力測定及び動作分析の測定料金の補助を行った。

内 容	利用者数	対前年比
体力測定	499 名	35 名
動作分析	311 名	31 名
競技力向上相談	851 名	78 名
合 計	1,661 名	140 名
内スポーツ医科学サポート補助	547 名 (動作分析 262 名)	2 名

(2) 診療所の運営 50,013,477 円 (47,745,000 円)

新型コロナウイルスの感染防止と医療安全管理指針に基づいた安全・安心な医療を実施するため、新潟大学大学院医歯学総合研究科と県内医療機関との病診連携により診療を行った。

ア 内科

体力測定及び生活習慣しっかり改善コース、個別プログラムサービス受講者の医学検査とアスリートの運動喘息外来を実施した。

イ 整形外科・リハビリテーション科

スポーツや運動による障害・外傷を対象とした外来診療と早期回復に向けたリハビリテーションを実施した。

内容		利用者数	前年度比
内 科	体力測定医学検査	377 名	19 名
	健康づくり医学検査	164 名	1 名
	小 計	541 名	20 名
整形外科外来診療		1,397 名	△270 名
リハビリテーション外来診療		997 名	△206 名
自主事業内科外来診療		130 名	△74 名
合 計		3,065 名	△530 名

(3) 健康づくり実践指導事業の実施 27,315,473 円 (30,802,000 円)

県内の健康づくり活動の普及、指導者の育成を目的に、健康づくり実践指導事業を実施した。

ア 生活習慣しっかり改善コースの実施

健康づくりのモデルコースとして実施し、有益なデータや取り組み事例を蓄積・発信した。

イ 親子コースの実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、2コースとも中止した。

ウ 健康づくり実践指導者研修（人材育成）の実施

改善コース及び指導者ニーズ対応型の2つの研修実施により、健康づくり指導者の人材育成を図った。

エ 個別プログラムサービスの実施

健康の保持増進を目的とした活動に取り組みたい方を対象に、健康サポート個別コースとオプションメニューにより、健康づくり実践指導事業を補完し、継続的なフィットネスホール利用の促進を図った。

オ ケアコンディショニング講習会

児童・生徒に対し、健康的な生活を送るための基礎となる栄養・運動・休養の講義や学校部活動に活用できるケガをしないための身体ケアの方法や基礎体力づくりの具体的な実技の講習会を実施した。

内容		参加者数	前年度比
生活習慣しっかり改善コース		831名	60名
親子健康づくりコース		0名	△28名
健康づくり実践指導者研修		524名	381名
健康づくりのための運動指導者研修会	室内運動指導者研修会	50名	3名
	水中運動指導者研修会	21名	2名
個別プログラムサービス		660名	67名
ケアコンディショニング講習会		499名	95名
合計		2,585名	580名

(4) 施設一般利用 26,884,768円(26,561,000円)

ア フィットネスホールの利用

複数種類のフリーパス券の提供や、各種事業との連携、利用者ニーズの対応等により、長期的、継続的な利用を促進した。なお、新型コロナウイルス感染対策により休止していた夜間営業を10月から再開した。

イ 研修室等の利用

デンカビッグスワンスタジアムとの連携等により、県民に対するセンター研修室等の認知度を高め、利用拡大を図った。なお、新型コロナウイルス感染対策により、トキめき広場を閉鎖した。

内容	利用者数	前年度比
フィットネスホール	17,479名	△220名
研修室等	4,162名	1,358名

合計	21,641名	1,138名
----	---------	--------

(5) スポーツと健康づくりの情報発信 4,384,501円(4,571,000円)

県民の利用拡充を図るため、利用者のニーズを踏まえた環境整備を随時行うとともに、ウェブサイト及び広報媒体等を活用し情報発信を行った。また、年報、パンフレット、チラシを作成し関連施設へ配布した。

(6) その他事業の実施 3,392,142円(3,346,000円)

ア 県民講座の開催

健康づくり及び競技スポーツに関する公開講座や運動教室、専門者向けの講習会等を開催し、県民の知識・技術の習得を促進した。また、専門講座では、健康運動指導士・実践指導者の登録更新や(公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導者の更新研修の対象となる講習会を開催した。

内容	参加者数	前年度比
一般講座	611名	79名
専門講座	133名	△11名
にぎわいイベント	1,306名	262名
合計	2,050名	330名

イ その他動作分析

運動指導やトレーニング方法、スポーツ器具・用具の機能等の科学的検証を目的とした動作分析を実施した。

ウ 広報普及活動

センター事業の実施により蓄積した情報(ノウハウ)を活用し、市町村・学校・企業等を対象に行った講師派遣や、センター事業に関連する技術・知識を習得するための見学、インターンシップなどを通してセンター(事業)の広報普及活動を行った。

内容	参加者数	前年度比
その他動作分析	38名	37名
広報普及活動	955名	480名
合計	993名	517名

B 収益事業 2,677,744円(2,667,000円)

本施設の研修室等利用のうち公益目的に該当しない利用目的で貸出している研修室等について管理運営を行った。

内容	利用者数	前年度比
研修室等	2,138名	776名

C 法人事業

1 県スポーツ協会の運営 20,328,520円(26,025,000円)

スポーツの普及・振興、競技力向上等の推進にあたり、関連団体の業務や事務局業務を担いながら新潟県の総合的なスポーツ振興に取り組んだ。

<事務局を担っている関連団体>

- ・新潟県広域スポーツセンター
- ・新潟県スポーツ少年団
- ・新潟県社会人スポーツ推進協議会
- ・公益財団法人スポーツ安全協会新潟県支部
- ・新潟県スポーツ施設協会
- ・新潟県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会

2 諸会議の開催

(1) 評議員会及び理事会

会議名	期日	会場
定時評議員会	令和4年6月23日	デンカビッグスワンスタジアム
臨時評議員会	令和5年3月23日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
理事会 第1回	令和4年6月8日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和4年6月23日	デンカビッグスワンスタジアム
第3回	令和4年12月16日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第4回	令和5年3月8日	デンカビッグスワンスタジアム

(2) 専門委員会

委員会名	期日	会場
合同専門委員会 第1回	令和4年9月22日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
第2回	令和4年12月1日	デンカビッグスワンスタジアム
総務・財務委員会	令和4年9月22日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

(3) その他

委員会名	期日	会場
役員等候補者選出委員会	令和4年5月20日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
評議員選定委員会	令和4年5月26日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター

3 加盟団体等との連携強化

加盟団体、県や市町村のスポーツ行政等その他関係機関との連携強化及び親睦交流を深めるため、下記事業を開催した。

事業名	期日	会場
加盟団体連携会議 (再掲)	令和4年4月28日	新潟県健康づくり・スポーツ医科学センター
ゴルフ大会	令和4年7月25日	ヨネックスカントリークラブ
新年会	新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止	